

入江泰吉記念写真賞受賞の写真家・田淵三菜氏が制作協力

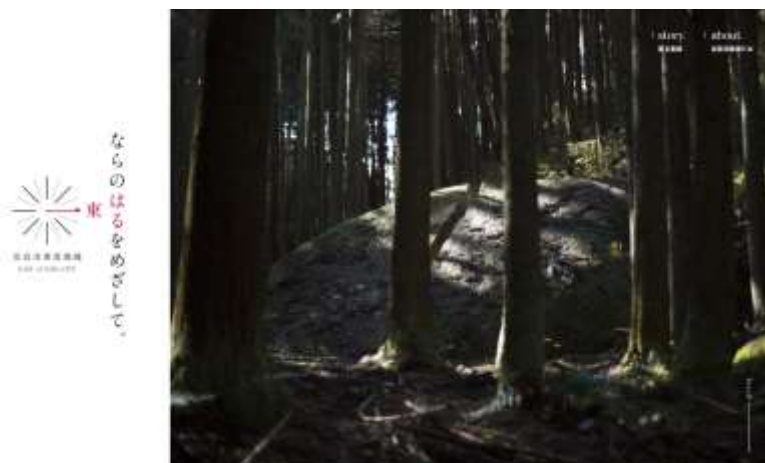
奈良市東部観光情報サイト「ならのはるをめざして。」をグランドオープン

今春、東部地域^{※1}の観光・民泊情報を提供するプロモーションサイト「ならのはるをめざして。」^{※2}をプレオープンしました。このたび、第2回入江泰吉記念写真賞を受賞した写真家・田淵三菜氏の協力のもと、コンテンツの制作を行い、今夏から本格的に公開します。

これまで、本市を訪れる観光客が、市内で食事・宿泊の機会を増やすことで滞在時間を延長し、消費の拡大を図る「もう一食、もう一泊」の取組の一環として、東部地域の活性化や誘客促進を進めてきました。その取組をさらに拡大するため、本サイトでユーザーの視覚に訴える質の高い写真や動画等で地域の魅力を紹介し、本市への観光人口、交流人口のさらなる増加に繋がります。

※1 奈良市の田原、柳生、大柳生、東里、狭川、月ヶ瀬、都祁の7つの地域

※2 「ならのはる」とは、古代より陰陽五行説では方角に季節があり、平城京からみたとき東の方角が「春(はる)」にあたることから名付けています。

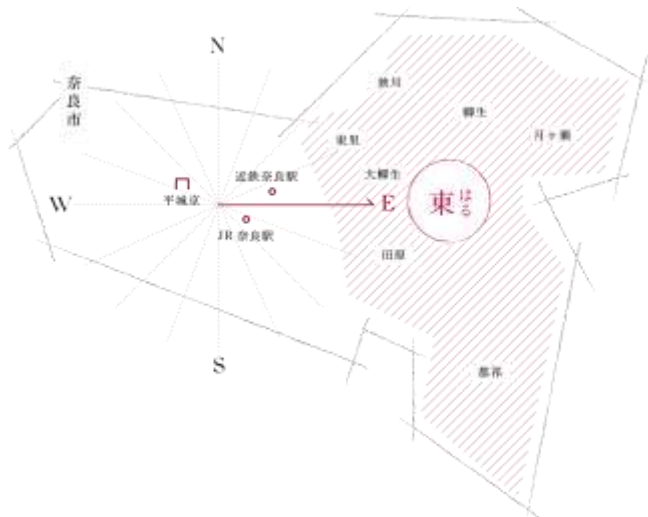


- 2016年に第2回入江泰吉記念写真賞を受賞し、翌年写真集「into the forest」を出版した写真家・田淵三菜氏が本サイトのコンテンツ制作に参加。
- 奈良市東部地域のプロモーションサイトとして、質の高い写真や動画で発信を行う他、イベントや民泊の情報等を職員が更新し、最新情報を発信。
- 奈良市独自の体験型観光「さとやま民泊」の取組にも誘導し、協定を締結した有限会社オクダの提供するオーダーメイドのツアーも申込が可能。

1. 奈良市東部地域の概要

標高 200～600mのなだらかな山地状の地形が広がる大和高原の北部に位置し、7つの地域（田原、柳生、大柳生、東里、狭川、月ヶ瀬、都祁）から成り立つ。中心市街地の主要駅から一番近いところで車で 20 分ほどにある地域。

本市にとっては、食料供給地、土砂崩れや洪水の防止、水質保全や大気浄化等の環境保全等の役割を担う一方で、人口減少や高齢化が顕著にみられる地域。



2. サイト制作事業者

株式会社アイル（代表取締役社長 岩本哲夫 / 大阪府大阪市北区大深町 3-1 グランフロントタワーB34 階）

テンテイー

たかむらかいと

10T株式会社（代表取締役 高村快人 / 神奈川県鎌倉市御成町 3-10 鎌万ビル 2 階）

※公募型プロポーザルにより事業者を選定。

※サイト構築費 538 万円

3. サイトの概要 （資料①参照（実際の提案書類から抜粋））

◆ サイトのコンセプト

「東」を陰陽五行説における「春」の方角と設定し、奈良の「はる」の方向を目指して旅をする」と設定。「奈良市街地からすぐに行ける、素朴で自然豊かな場所」として奈良駅付近の主な観光地＋東部地域という新たな選択肢としての位置づけを周知する。

◆ 写真家・田淵三菜氏、料理研究家・三原寛子氏の起用

写真家・田淵三菜氏（第 2 回入江泰吉記念写真賞受賞）が撮影した写真をメインビジュアルや主要ページ等に配置し、地域や各スポットのイメージアップを図る。

なお、田淵氏とともに、料理研究家・三原寛子氏を起用し、エッセイの寄稿の他、東部を旅する様子を収めたショートムービーを公開予定。それぞれ写真、料理を通じて、東部地域との縁を発見する過程を核に制作を行った。

◆ サイトの PR 方法

グラウンドオープンと併せ、田淵氏の写真を用いて制作したポスターを東部地域の関連施設や観光施設・店舗等に掲出し、サイト自体の PR を図る。今年度継続して行うコンテンツの拡充に合わせ、本サイトの PR も強化する予定。

4. メディア向け現地視察ツアー

メディア関係者を対象とした体験型観光を紹介するツアーを実施。

(別紙ツアーのご案内参照)

昨年度から東部出張所で実施している「さとやま民泊」の参加施設（本サイトにも掲載）を中心に東部地域を周遊していただきます。

5. 「さとやま民泊」※³について

◆参加数

約 40 施設（うち農家民宿・民泊は 6 施設※⁴）（資料②参照）

今年 5 月にはスタートアップミーティングを実施。

※³ 「宿泊を含む東部での体験型観光全般」を指す広義の言葉（本市の造語）。東部地域の住民、事業者が主体的に農村地域の地域資源を活かした宿泊、体験、食事、買い物等を提供できるよう、本市が推進・サポートする取組。

※⁴ 民泊新法（=住宅宿泊事業法 平成 29 年 6 月施行）以降に登録の 2 施設においては、昨年 12 月以降、合わせて 100 人以上の宿泊客を受入。

◆今後の展開

- ▶ 旅行会社「有限会社オクダ」※⁵により、宿泊と体験コンテンツを組み合わせたツアー造成やオーダーメイドのツアーを実施し、利用者の増加を図る。
- ▶ 市観光協会と協力したツアー造成も推進。
- ▶ 「さとやま民泊」提供者向けのセミナーや、SNS 等を用いた Web 広報・キャッシュレス対応等のテーマ別セミナーを開催し、事業者への情報提供と受入体制の強化を図る。
- ▶ 「どぶろく特区」※⁶の取組を推進。

令和元年 6 月、都祁で農家民宿を営む吉井博俊氏が第 1 号の酒造製造免許を取得。現在、今秋の新米によるどぶろく作りに向け試作中。

※⁵ 「民泊新法」の施行により、平成 30 年 9 月 27 日に「さとやま民泊」に関する連携協定を締結。本社は大阪府堺市であるが、奈良支店は柳生地区の「柳生茶屋」に構える。

※⁶ 平成 30 年 12 月に構造改革特別区域計画「奈良市東部地域どぶろく特区」（通称「どぶろく特区」）を申請し、内閣総理大臣により認定。